

2024/9/30

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(9月23日~9月27日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,332.0	1,339.7	1,315.5	1,319.2	▲9.8
JPY/KRW	9.2432	9.3062	9.0230	9.1713	▲0.193
KOSPI	2,596.47	2,681.45	2,588.49	2,649.78	+56.41

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。週初のドル/ウォンは1,332ウォン付近でオープン後、中国景気後退懸念から東アジア通貨が軟調推移する中で上昇するも、米利下げを背景に1,340ウォンの節目が意識された。翌24日に中国人民銀行が預金準備率の引き下げなど緩和策を発表すると人民元安が継続し、ドル/ウォンは底堅い推移が継続した。一方、海外時間にかけて中国の各種景気刺激策が好感され、一転人民元高が進行するとドル/ウォンは1,320ウォン台半ばまで下落してオープンした。日中は下げ幅を縮小する動きとなるも、26日には人民元高が進行し、ドル/人民元が7.0の節目を下抜けると、再びドル/ウォンは下落した。27日も人民元が堅調推移したことで、ウォン高が進行。一時1,315.3ウォンの安値をつけた後、ドル/ウォンは前週末比▲9.8ウォンの1,319.2ウォンでクローズした。(韓国時間 15:30)

今週の見通し

今週のドル/ウォンは上値重い推移を予想。先週末のPCEデフレーターを受け米インフレ減速が確認され、米金利が低下したこと、中国景気対策を期待した人民元買い、自民党総裁選を受けた円買いにより、週初のドル/ウォンは上値重い推移となろう。米経済動向・米金融政策動向を図る上で、今週の米経済指標は注目。特に雇用動向は足許注目材料となっており、利下げ織り込みにも影響しよう。米金利が一段と低下する展開になれば、ドル/ウォンは1,300ウォン割れを試す展開となろう。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1295 ~ 1325	9.05 ~ 9.35	140.5 ~ 144.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 30日(月) 日 8月 鉱工業指数 速報値
- 中 9月 製造業PMI 速報値
- 中 9月 非製造業PMI 速報値
- 中 9月 総合PMI 速報値
- 中 9月 サービス業PMI 速報値
- 1日(火) 欧 9月 製造業PMI 確報値
- 米 9月 製造業PMI 確報値
- 日 8月 失業率
- 米 9月 ISM製造業景況指数 速報値
- 日 3Q 日銀短観
- 2日(水) 韓 9月 CPI 速報値
- 米 9月 ADP雇用統計 速報値
- 3日(木) 米 9月 失業保険新規申請者数
- 欧 9月 サービス業PMI 確報値
- 米 9月 サービス業PMI 確報値
- 米 8月 耐久財受注 確報値
- 米 8月 製造業受注
- 米 9月 ISM非製造業景況指数 速報値
- 4日(金) 米 9月 非農業部門雇用者数 速報値
- 米 9月 失業率 速報値